

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 2年3月24日

2次評価日（課長等） 2年3月25日

1 事業名	消防団施設整備事業			コード	10103	
2 担当部課	部等	総務部	課等	消防課	作成者	中嶋 一雄
3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち			
		政策	安全対策の推進	施策	危機・防災・減災対策の推進と消防力の強化	
		予算科目	消防団施設整備事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		根拠法令	なし			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	大規模災害発生時等、地元消防組織が使用し災害の大規模化を防ぐ装備の充実により、岡谷市民の安全安心な暮らしの確保に資する。		
目的	対象者	消防団	
	意図	災害活動用資機材の更新	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	・購入後30年を越える消防団車両の更新計画について、消防団幹部を交え検討。消防ポンプ車と災害対応型多機能消防車の配備計画を策定。		
前年度の課題への対応			

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	0	0	0	45,000,000
経常経費				45,000,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明	消防団車両整備事業（備品購入費）			
② 人件費	0	0	0	800,000
正規職員の人数（人）				0.10
③ 合計コスト（①+②）	0	0	0	45,800,000
前年度比			-	-
財源内訳				
一般財源	0	0	0	800,000
特定財源	0			45,000,000
* 特定財源の説明	消防団車両整備事業（緊急防災・減災事業債 充当率100% 交付税算入率70%）			
④ コストに関する補足説明	令和2年度から消防団車両の更新を図る。			

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	-	-	-	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 従来、消火活動にウエイトを置き、車両及び装備を備えていたが、過去に岡谷市が経験した大規模な山林火災、また発生が危ぶまれている地震災害への対応は、消防団の能力を最大限に発揮される機会であり、その力を活用するための装備は積載する車両についても併せて考慮する必要があることから、消防団車両の更新計画と併せて検討をめる必要がある。
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 車両、装備の整備に向けては、平成30年度に総務省消防庁から無償貸付となった救助資機材搭載型消防ポンプ車が配備となった。消防ポンプ車と災害対応型多機能消防車をバランスよく配備し、消防力の強化を図り、令和2年度以降、計画的に消防団車両の更新を実施。令和2年度は第4分団に消防ポンプ車、第11分団に災害対応型多機能消防車を配備予定。
改善方法	
改善開始時期	令和2年4月1日

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	---	---